



# 大庭小学校だより

文責:佐藤



## 卒業・修了おめでとう！！

3月19日には卒業生が大庭小学校を旅立っていきました。記念すべき150周年の卒業生です。はなむけの言葉もそれにふさわしいものと考えました。文中では、5年生に向けて語りかけていますが、全校で、これまでの伝統の上に新しい伝統を創っていく大庭小学校でありたいと思います。

みなさんは、記念すべき150周年の卒業生です。大庭小学校卒業生は今年で一万人※1を超えました。みなさんは、この記念すべき年に学校のリーダーとして長い伝統がある大庭小学校に新たな伝統を築いてくださいました。

新しく入学した一年生と仲良くなる会、150周年記念品の企画書、実行委員会を中心とした体育会の企画、外国の言葉でのあいさつ運動、三年生への松江城のプレゼンテーション、全校での増え鬼遊び、楽しいお昼の校内放送、そして150周年の歌※2・・・まだまだありそうです。

新しい伝統に取り組んだみなさんにふさわしい「ファーストペンギンとセカンドペンギン」という話を私から贈ります。

極寒の南極に住むペンギンは、厚い氷の上で群れをつくり、身を寄せ合って暮らしています。餌の魚は海の中ですが、その海の中には天敵のシャチやアザラシが待っています。危険なその海に、一番に飛び込んだペンギンを、ファーストペンギンと呼びます。ファーストペンギンの後には、次々とペンギンの群れが海に飛び込むのだそうです。

そこから、人間の世界でも勇気をもって新しいことにチャレンジしてゼロからイチを創った人をファーストペンギンと呼んで、たたえるのです。人間の世界でも、誰もやっていないことに一番にチャレンジすることは勇気がいることです。だれも手を挙げていないときに一番に手を挙げることも勇気がいることでしょうか？

さきほど、お話した皆さんの150周年の取組はすべてファーストペンギンというにふさわしいものです。皆さんは、大庭小学校に新しい伝統を作ってくれました。その伝統「新しいことにチャレンジすること」は、きっと五年生がしっかり受け取っています。五年生は新しいリーダーとして、いままでどおり真似をするのではなく、151年目の大庭小学校を創っていつてくれるでしょう。



ところで、あなたがファーストペンギンだとして、チャレンジしても誰もついてこなかったら、どうでしょう？

二人目のセカンドペンギンの存在もまた大切なのです。ファーストペンギンのチャレンジを見て、よし自分も続こうとするセカンドペンギンがいて初めて群れは動きます。みなさんの150周年の取組もそうだったのではありませんか？誰かがこうしようと言って、「それいいね」と言った人がいるはずですよ。

みなさんも一人ではありません。86人の卒業生の仲間、一万人もの先輩たち、仲間がチャレンジしようとしていたら、セカンドペンギンは自分かもと考えてみてください。自分がゼロから考えた夢や未来ではないかもしれませんが、「それいいね」「実現したい」と思ったことには、一緒に取り組んでみてください。

中学校でも、その後の人生でも、今、自分はファーストペンギンとなるべきか？セカンドペンギンとなるべきか？と考える時がきっと来るはずですよ。あなたが飛び込む、チャレンジする海は何かを探していってください。

卒業生のみなさん、保護者や地域の方、私たち教職員もみなさんの応援団です。自分の飛び込む海を見つけ、中学校やその後の社会をよりよくしていきましょう。

※1学校の名称変更で卒業の通し番号がリセットされていますが、可能な限り遡ると卒業生は1万人を超えていました。

※2 6年児童作詞、本校音楽主任作曲です。→ → → ↓

3.5%の人が動けばその社会が変わるとい研究があります。100人のうちの3人から4人が実現したいという夢や志をもち、実際に動けば社会は変わっていくということです。夢や志は人それぞれですが、自分が動くことで少しずつ社会や未来がよい方向に動くことを信じてこの先の人生を送ってほしいと思っています。卒業生も在校生も創立200年の2074年を迎えるはずですから。

今年度もご家庭や地域のたくさんのお力添えをありがとうございました。来年度は、新1年生と新しい職員でよりよい学校を目指します。来年度は1・2・3年生が2学級、4・5・6年生が3学級、ののほなグループ4学級の予定です。始業式は4月8日、入学式は4月9日(6年以外は休業日)。新学期に向けて子どもたちがエネルギーをためる春休みになさってください。

